

山っぴ

vol.2
2016.03.02



特集

仕合せ
委員長

委員長インタビュー
編

雪まつり

コミュニティひろば



ひろばチーフ
本木 太一

ひろばチーフをやって、準備期間は苦しい一言。ひろばの完成図を想像できないまま、計画、資料作成、指示。かなりの外れだったのでは。軌道修正してくれた委員会、セクションのメンバーには感謝の気持ちでいっぱいです。当日は、楽しい一言。多くの人の笑顔が見られる場所は他にない！雪まつりにはまるメンバーの気持ちがよく分かりました。



本部チーフ
田村 祐昌

これまで、雪まつりではチーフ1回、サブチーフ2回を経験いたしました。しかし、今年に入会以来経験のない本部セクションでチーフを務めました。分からないながらも井沢サブチーフ、セクションメンバーからも力をかしていただき、至らないところも多々あったと思いますが、快適で休める本部を提供できたと思っています。皆さん本当にお疲れ様でした！！



茶室チーフ
金子 義勝

今年は小雪で会場変更案や雪無しプランを考えたりと、通年に比べ課題が多く大変でした。私の第二の故郷、金沢をモチーフに雪上茶室を作成しました。優秀な二人のサブチーフ&俵山君と共に協力し、すべて課題をクリアしながら事故が無く大成功に終わりました。そして重機班の江村君、太田君とても感謝です。十雪庵バンザイ！！



雪まつり特別委員長 長井 貴志

たくさんの笑顔で溢れたコミュニティひろば。今年も皆様のお力添えを頂き無事に運営する事ができました。歴史的小雪に天を仰いだ日々を経て、雪が無い中でのコミュニティひろばの開設には様々な挑戦とドラマがありました。今年度の雪まつりスローガン「笑顔の確認！全方位ヨシ！一致団結！雪まつり！」を会員一同で唱和しながら、毎日本部に集まっては議論し、セクションチーフの指示のもと一生懸命に現場を作り上げ、毎晩語り合う。そして何より雪まつりを楽しむ。まさに脈々と変わらない雪まつり事業の姿がありました。入会歴に関係なく、会員が手を取り共に歴史あるコミュニティひろばを運営できた事で、この先も一致団結し更なる力を発揮できると感じています。今思えば、現場を歩き回り落ち着きの無い委員長であったかと思いますが、期間中たくさんの笑顔に繋げて頂いた事に、全ての会員と協力いただいた関係者の皆様、応援頂いた皆様に心より感謝します。

初めての雪まつりで、初めての資材チーフを仰せ使いました。何分わからない事だらけでしたが、終わってみれば学ぶことだらけでした。段取りの方法や流れ、そして何より十日町青年会議所の英知と勇気と情熱をこの雪まつりで気づかされ、学べる機会になりました。また今回の経験を次にいかしていけるよう頑張っていきたいと思いました。



資材チーフ
飯塚 信広

馬場理事長

繋 栢森委員長

インタビュー
委員長

仕合せ
委員長

編

佐藤 インタビューアの佐藤幸治です。宜しく願います。委員会名を仕合せ委員会とした理由をお聞かせ下さい。

栢森 現在使われている「幸せ」という言葉は本来「仕合せ」という漢字が使われていて、仕合せが良い、悪い、といったようにめぐり合わせを意味する使われ方でした。拡大や交流を行っていくこの委員会では、人とのめぐり合わせが本質的な内容となる委員会なので、「仕合せ」という漢字を使わせていただきました。さらに、この委員会で学びを得たことを活用して、周りの人々を仕合せにできたらいいな、という意味も込められています。

佐藤 馬場理事長、栢森委員長を委員長に選んだ理由を教えてください。

馬場 実は、栢森委員長とは過去に一度しか同じ委員会での活動を行っていません。しかし、非公式のカラオケ部であったり、昨年は

新潟ブロックの演出でバンドを組んだりと委員会以外の部分で交流がありました。



▲雪まつり準備期間中のインタビュー。雪祭りで、準備期間中のインタビュー。

2014年、私が副理事長の時に、担当の副理事長ではなかったものの、当時社会開発委員長であった栢森委員長の動きを見ていて、一つのことには打ち込む姿勢に心を打たれました。その時の栢森委員長が言っていた「足で稼ぐ」という言葉は今でも心の中に深く残っていて、拡大をしていく上では栢森委員長が適任だと感じてお願いしました。

佐藤 栢森委員長、馬場理事長が委員長の依頼があつた時の気持ちはどうでしたか。

栢森 率直に思ったことは、馬場大和さんからのお願いを断る理由はないな、ということでした。人数の減少については私も気にしていたことですし、急務です。また、以前委員長をした時は自分で動き過ぎた部分があつたので、次に委員長をやるときはメンバー全員の成長に繋がるように頑張ろう、という思いがずっとありました。これは良いチャンスだと思つてすぐにその場でお受けしました。

佐藤 馬場理事長、そんな栢森委員長が行う会員拡大への思いや望むことがありましたらお聞かせください。
馬場 昨年、今年と非常に大勢のメンバーが卒業していく中で、まだ卒業には遠い世代の人を一人でも多く引き連れて、十日町青年会議所を盛り上げて欲しいと思います。2014年に松田先輩が委員長として率いた拡大academy委員会のような一年で即戦力を育てる流れを60周年を直前にしたこの年に期待しています。
佐藤 栢森委員長、まずは会員拡大についてですが、どういった取り組みをしていこうとお考えですか。

栢森 先ほどの馬場理事長の話の中でも出たとおり、足で稼いでナンボだと思つています。勧誘してすぐに入会してもらえないことはほとんどないと思います。断られて、断られた理由をもう一度考える。その繰り返しで場数を踏まなくてはならないと思うので、とにかくたくさんの人と会つて、吸収して、自分の勉強にも繋げながら拡大を行っていきたいと思つています。

佐藤 今年度、新しい試みがあれば教えてください。

栢森 自分が声をかけられる立場になつて考えてみたり、いろいろな人に声をかけてみた結果、忙しそうだが大変そうだという話が誰からも出てくるので、現メンバーが普段どんな仕事をしながら、また、どんな時間の作り方の工夫をしながらJC活動をしているかがわかる顔写真付きの人物名鑑を作成し、拡大へのツールとして考えています。



佐藤 次に、会員の資質向上の部分についてはどういったお考えがありますか。

栢森 LOM、メンバー、新入会員、そして候補生それぞれに資質向上にむけたセミナーを受けてもらうのはもちろん、とにかく様々な経験をしてもらいたいと思っています。合わせ委員会は若いメンバーがいる委員会なので、例えばですが、屋外と屋内でスーツのフラップはどうしたらよいか…等といった、大人のマナーなども学んでいこうと思っています。



▲山田武副委員長とガツチ握手。

佐藤 資質向上セミナーを通じて栢森委員長がメンバーに伝えたい事はどんなことですか。

栢森 実際、卒業してからがこの地域を引っ張ることのスタートだと思っています。その卒業までの期間、一所懸命にやって様々な感情を沢山経験してもらったことにより、自然と資質が向上するのではないかと思います。

佐藤 馬場理事長から栢森委員長へ質問があればお願いします。

馬場 二度目の委員長ですが、何か心掛けていることはありますか？

栢森 前回委員長をした時は、3月4月と連続の担当例会でプレゼンの資料作りをメンバーに頼んだのですが、私の伝え方が悪かったこともあってうまく進められず、結局自分で作ってしまったという経験がありました。今回は積極的にメンバーに話をして、一緒に進めていくスタイルができればと思っています。

馬場 この委員長は、考え事や悩みが多くなると思いますが、仕事やプライベートに与える影響はありそうですか？

栢森 まだ数人にしか声掛けをしていませんが、自分の考えを100%相手に伝えることは難しいなと実感しています。普段一人でシミュレーションしていても、土壇場になると相手を動かすような事を言うのは難しいですね。なので、気持ちを伝えることについてはいい勉強になっているので、プライベートや仕事にも活かせるんじゃないかなと思います。

佐藤 最後に、山つつじをご覧のみなさんにメッセージをお願いします。
馬場 この記事を見ている方は、何

かしら十日町青年会議所に関わりのある人達だと思います。自分達だけでやっていくには限界もありますし、少しの情報でも、どんな形でも良いので提供していただきたいです。未だにJCに対する偏見もあるように思えますが、新しく入って来た人たちが自分達のペースでやっていけるようにもなっていてますし、居心地の良い団体だと思います。そういったところを理解していただき、会員拡大へのお力添えをお願いしたいと思います。

栢森 近くに有望な若者がいましたら、今後この地域を引っ張っていく人間に成長してもらおうべく、JCで勉強してこい、と背中を押していただきたいと思っています。OBの方ももちろん、そのご子息の方々なども是非とも、十日町青年会議所という組織に入会を勧めていただきたいと思います。



▲最後は二人の笑顔で記念撮影。入会者候補者の情報をお待ちします。

年賀交歓会

今年度の年賀交歓会を1月16日にラポート十日町様にて開催させていただきました。多くの来賓の皆様、シニアクラブの皆様、賛助会員の皆様からご臨席賜り本当にありがとうございました。年賀交歓会の担当委員長として、新たな演出を様々盛り込みながら2016年度の方針、事業内容と活動を発信できる会となるよう設営致しました。また先輩の方々とのお交流を通して、変わらぬ志のもと今まで十日町JCに繋がれてきた「縁」が、現役の私たちの背中を押していただいていることを改めて感じる機会となりました。本当にありがとうございました。

繋がる推進委員会 委員長

佐藤 幸治



▲1月16日 ラポート十日町にて

昨年12月に入会させていただきました尾身信幸と申します。今回初めて年賀交歓会に参加させていただきましたありがとうございます。また名刺交換に加え諸先輩方のお話を拝聴することができ大変勉強になりました。まだまだ自分は未熟者ではございますが、数多くの諸先輩方を輩出してきたこの歴史ある十日町青年会議所で自分も頑張っていこうと思いました。今後ともよろしくお願い申し上げます。



尾身 信幸

1月1日より青年会議所の一員に加えていただきました。年賀交換会に参加させていただき、右も左もわからない中ではありましたが、隣の席でありました重野剛基君や山田武君をはじめ、皆様より暖かく迎えていただき有難うございます。今後は、一日でも早く伝統ある十日町青年会議所のお役に立てるよう精進して参ります。



羽鳥 健太郎

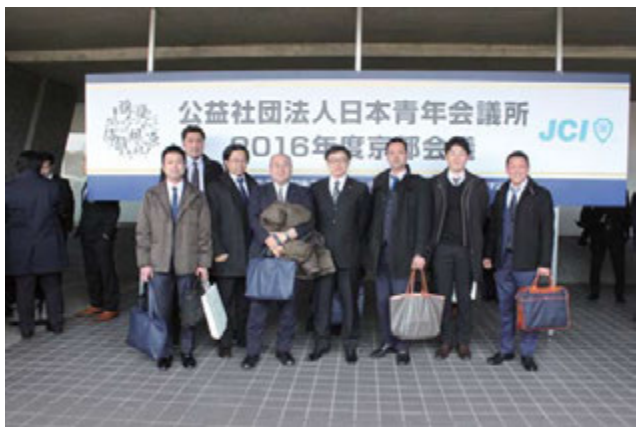
京都会議

1月21日から24日にかけて京都会議が行われました。

150回総会をはじめ、各セミナー、わんぱく相撲説明会などがありました。委員会や説明会、撮影だけのために来てくれたメンバーも多く、参加者が京都で全員揃うことはなかったですが、忙しい中、時間を作って京都まで着てくれたメンバー、本当にありがとうございました。

専務理事

遠田 憲嗣



▲1月23日 国立京都国際会館にて

ブロックコンファレンス



▲1月30日 ホテルイタリア軒にて

今年度の第一回ブロックコンファレンスでは、出向先での設営の立場と十日町JCIとして迎えられる立場の両方で参加いたしました。前年度の事務局次長とはまた違う立場でのブロックコンファレンスで多くの気付きと縁を学ぶことができました。この体験をこれから活かすと共に今年度、出向の機会をいただきました馬場理事長に感謝致します。

委員会

山田 武

2月例会

2月担当例会では各セクションの打ち合わせと雪まつりの歴史について学びました。各セクションの打合せは小雪のため、例年と違うスケジュール、レイアウトになった事から、例年以上に重要な打合せとなりました。歴史については小雪で苦労された当時の雪まつり委員長のリアルな感想を伝える事で、雪まつりを行う意義や熱意をメンバーに学んでいただけたと思います。雪まつり特別委員会 副委員長

野上 知幸



▲2月2日 エコモールにて

一般建築業
丸池工務店
有限会社
十日町市稲荷町西
TEL757-3924・FAX757-3103

こじま寿司
十日町市高田町1 ☎752-2519

「ふやす」「守る」「育てる」
有限会社 サクセスプラン
アクサ生命保険株式会社 代理店
(金融資産運用)自分年金・退職金づくり・孫(子)教育資金
(相談事業承継)生命保険金・退職金の非課税枠活用等
TEL:(025)757-2058 FAX:(025)750-5210



私達と一緒に
活動しましょう!!

十日町青年会議所

3月～5月スケジュール

- 3月 2日 3月例会
- 3月 19日 会員会議所会議
- 3月 24日 第四回理事会
- 4月 1日 4月例会
- 4月 21日 第五回理事会
- 5月 2日 5月例会
- 5月 8日 わんぱく相撲十日町場所
- 5月 26日 第六回理事会
- 5月 29日 新潟ブロック
サッカー大会

編集後記

新年総会・年賀交歓会、そして十日町青年会議所の一大事業となる十日町雪まつり、皆様大変お疲れ様でした。

年賀交歓会においては司会という大役をさせて頂いたいただき、またひとつ学びを得ることができました。先輩方からの激励のお言葉やアドバイスをもとに、より一層青年会議所活動に励んでまいりますので今後ともよろしくお願い致します。ありがとうございます。

繋がる推進委員会

副委員長 杉谷仁大

公益社団法人 十日町青年会議所 広報誌 山つつじ
発行／公益社団法人 十日町青年会議所
題字／馬場 大和
編集長／杉谷 仁大
事務局／〒948-0088

新潟県十日町市駅通り17番地

十日町商工会議所内

電話番号 025-757-5111

FAX番号 025-752-7332

E-mail tokamachijc@waltz.ocn.ne.jp

ホームページ

<http://www.tokamachijc.com/>



Facebook ページ

<https://www.facebook.com/tokamachijc>

